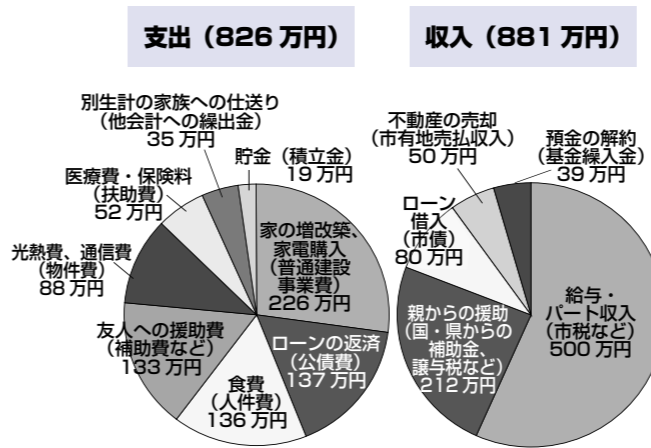


国をはじめ、地方自治体の財政状況が厳しいと言われる中、守谷市の財政はどんな状況なのでしょう。今回は5つのポイントに絞り、「守谷市の台所事情」を分かりやすくお知らせします。

ポイント1 収入・支出の状況は？

自治体の予算・決算は規模が大きく、科目の名称も分かりにくい。市の決算を「給料・パート収入等が500万円の家計」に置き換えてみました（17年度普通会計（\*1）の数値使用）。



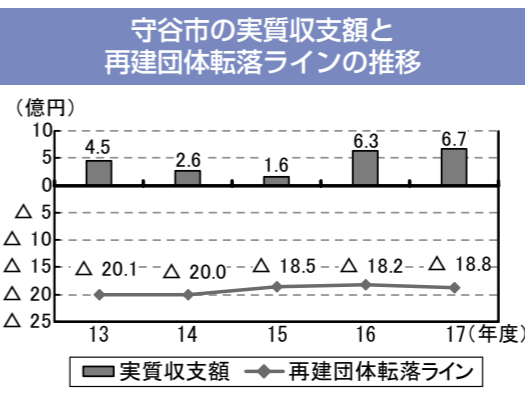
★収入の約60%は自ら稼いでいます。が、約25%を親からの援助に頼り、医療費や家の増改築に充てています。★ローンの返済が16.6%を占めています。★収入の約60%は自ら稼いでいます。が、約25%を親からの援助に頼り、医療費や家の増改築に充てています。★ローンの返済が16.6%を占めています。★収入の約60%は自ら稼いでいます。が、約25%を親からの援助に頼り、医療費や家の増改築に充てています。★ローンの返済が16.6%を占めています。

収入-支出の差額は…

収入-支出(形式収支)①	55万円
翌年度ボーナス引き落とし確定額(繰越明許費)②	27万円
差引(①-②)(実質収支)③	28万円
③のうち銀行に貯金(歳計剰余金積立)	21万円
③のうち財布貯金(次年度繰越金)	7万円

1092万円

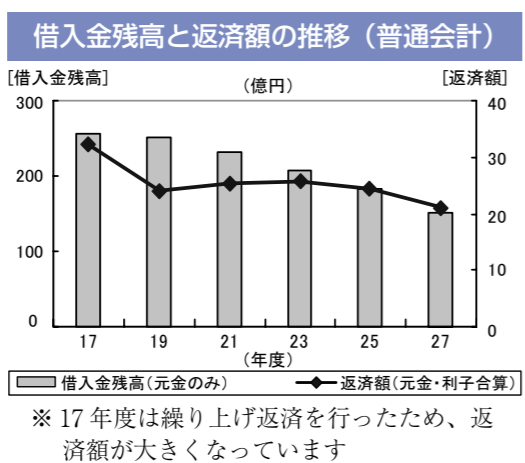
★収入の約60%は自ら稼いでいます。が、約25%を親からの援助に頼り、医療費や家の増改築に充てています。★ローンの返済が16.6%を占めています。★収入の約60%は自ら稼いでいます。が、約25%を親からの援助に頼り、医療費や家の増改築に充てています。★ローンの返済が16.6%を占めています。



右のグラフで17年度を見ると、実質収支額(\*3)は6.7億円の赤字です。一方、再建団体に転落する赤字額は18.8億円で、まだ25.5億円の開きがあることが分かります。17年度以外についても、守谷市の

借入金残高と返済額の推移

借入金の残高は、16年度がピークで、現在は減少傾向です。今後も、新規の借入金を返済額の範囲内に抑制する(19年度の借入額は県内市で最少)ことで、借入金の残高を着実に減らしていきます。



市民の生活水準を上げるために、借金を有効かつ計画的に活用し、学校・上下水道・道路などを整備してきた結果、上下水道の普及率は県内トップクラスを誇り(下水道普及率は県内1位)、経済誌における住みよさランキングでも高い評価を得ています。

ポイント4 どのような事業に借金をしてきたのですか？

長期にわたって使用する学校や道路などの整備は、そのときの市民だけに負担をもらうわけにはいきません。そのため、借金をすること

事業内容別の借金残高一覧

事業内容	金額	構成比	返済の財源
小・中学校の整備	53.1億円	18.5%	税金
守谷駅周辺の整備・区画整理	28.7億円	10.0%	税金
つくばエクスプレスへの出資	18.0億円	6.3%	税金
城址公園の整備	12.8億円	4.5%	税金
道路の整備	9.3億円	3.2%	税金
公民館・図書館の建設	8.9億円	3.1%	税金
市役所、保健センターの建設	5.4億円	1.9%	税金
その他(市営住宅や保育所の建設など)	9.6億円	3.4%	税金
国の税制などの改正に基づくもの	55.3億円	19.3%	税金
普通会計(税金で返済)計	201.1億円	70.2%	-
下水道の整備	73.2億円	25.6%	下水道使用料
水道の整備	7.6億円	2.7%	水道使用料
その他(守谷駅周辺の宅地造成など)	4.3億円	1.5%	保留地売却ほか
普通会計以外(税金以外で返済)計	85.1億円	29.8%	-
借金合計	286.2億円	100%	-

※このほか、都市再生機構等が市に替わって整備した小・中学校などの建設立替金が55.5億円あり、これを加えると、実質的に返済すべき債務は341.7億円になります

ポイント5 将来の見通しはどうなっているのですか？

市では、今後の財源不足額を補い、安定した財政運営を行っていくために、今後10年の道筋を示す「守谷市財政健全化計画」を昨年5月に作成しました。

現在、この計画に基づき、中長期的な視点に立って、財政運営を行っていきます。また、社会情勢の変化に対応するため、定期的に見直し

も行っていきます。

●財政健全化の主な取組み項目

- ◆行政改革による経費削減
- ◆定員管理の見直し(17・21年度の5か年で31名の職員削減)、民間委託等の推進など
- ◆道路建設や学校建替え等の臨時的事業計画の見直し

ポイント2 財政が厳しいと聞きますが、赤字なんですか？

市町村は、国や県からの補助金や借入金を除いた標準的な収入(標準財政規模\*2)に占める赤字額が20%を超えると、会社でいう倒産状態と同じ「財政再建団体」となります。財政再建団体となると、国の指導・監督の下、歳入歳出ともに厳しい見直しを求められ、廃止する事業が出てきたり、市民へのサービス水準を引き下げざるを得なくなってしまう

ポイント3 借金が多いいんですか？

17年度末の借入金の残高(普通会計)は左表のとおりです。財政の規模は違いますが、近隣市と比べて際立って多いわけではありません。

近隣市の借入金残高(普通会計)及び標準財政規模(平成17年度末)

市名	借入金残高①	標準財政規模②	①÷②
取手市	362.7億円	207.8億円	174.5%
龍ヶ崎市	302.6億円	138.3億円	218.8%
常総市	246.2億円	132.2億円	186.2%
牛久市	202.5億円	121.8億円	166.3%
守谷市	201.1億円	93.8億円	214.4%
つくばみらい市	128.0億円	86.5億円	148.0%

※水道事業や下水道事業を単独で行っていない市もあるため、統計上の共通単位である普通会計の借入金で比較

費の削減。国庫補助金などの特定財源の有効活用と、借金の抑制を図る

◆守谷駅周辺の市有地売却収入を活用した事業の遂行

大野小学校の耐震補強や守谷小学校の改築などの事業に、市有地売却収入を財源としていく

市では、市内全域で下水道の整備も完了し、守谷駅周辺の区画整理事業も20年度完了を予定しています。したがって、今後は都市計画道路の整備、学校の建替えや公共施設の修繕が主なものとなり、大きな支出は限られてきます。

また、つくばエクスプレス効果などで、健全化計画策定時に比べ予想以上に人口が伸び、市税の伸びも期待できるため、都市計画道路の整備促進も見通しが立つなど、状況は好転しています。

このような状況を生かしつつ、毎年の予算編成・執行にあたっては、財政健全化計画に基づき、10年先を見据えた財政運営を行っていきます。

「ポイントで見る守谷市の台所事情」及び「守谷市財政健全化計画」は、市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.moriya.ibaraki.jp/section/0140/>